

農学部附属農場で収穫祭 稲刈りを満喫

日時：平成30年10月27日（土）

場所：農学部附属農場（春日井キャンパス）

春日井キャンパス農学部附属農場において、毎年の恒例行事である収穫祭が10月27日に開催されました。農学部・農学研究科の学生、本学の教職員、附属高校の生徒、農学部OB、春日井連携講座を受講中の市民など約230名が参加しました。小原農学部長、磯井農場長の挨拶、当農場作物分野の片山教務技師と技術職員による収穫作業の説明の後、参加者は水田に入り、稲刈り作業を行いました。当日は朝まで降っていた雨もやみ、多くの笑顔があふれ、和気あいあいとした雰囲気の中で稲刈り作業が進みました。1時間ほどの作業で、約18アールの水田いっぱいに黄金色に実った稲「あいちのかおり」が収穫されました。稲刈り後の昼食は、農場で生産した新米によるおにぎり、農場で採卵した各種ニワトリ「ボリスブラウン」、「名古屋コーチン」、「岡崎おうはん」、「岡崎アロウカナ」のゆで卵、豚汁には応用生物化学科の食品加工実習で学生が作製した味噌による豚汁といった地産地消メニューがふるまわれました。心地よい汗を流した参加者は、おにぎりをほおぼって恵みの秋を実感しました。

なお、当日の様子は翌日の中日新聞近郊版(春日井市を含む)に写真と共に記事が掲載されました。

